



## 第2回

# 西宮市地域公共交通活性化協議会

---



# 青葉台地区の取り組みについて

---



## 地区の概要

---

- ・人口、世帯数 : 1,100人、455世帯
- ・高齢化率 : 23% (全市平均約12%)
- ・自動車運転世帯 : 77% (全市平均より高率)
- ・自動車所有世帯 : 75% (全市平均より高率)
- ・最寄り駅距離 : JR生瀬駅まで最長2km
- ・地形状況 : 谷筋の稜線に宅地開発された地形で坂道が多い。(高低差約70m)
- ・住民の意識 : バス必要が約50%、将来の高齢化からバス必要が約37%、合わせて約87%がバス導入を望んでいる。(アンケート調査結果による)



## 取組み経過

---

- ・H18.10・・・コミュニティバスの要望書提出
- ・H19. 1・・・青葉台自治会コミュニティバスの検討を始める。
- ・H20. 2・・・交通実態調査アンケート実施
- ・H20. 9・・・老人会理事会で「青葉台の交通問題を考える会(略して「青葉台ミニバスを考える会」)が発足
- ・H20.10・・・第一回青葉台ミニバスを考える会を開催し、規約を制定
- ・H20.11・・・試験運行を決定

## 取組み経過

- ・H21. 1 ……淡路市長沢地区へ自主運行バスの視察(16人参加)



視察状況

# 取組み経過

・H21. 1 ……試験運行開始(期間:H21.1 ~ H21.4 )



青葉台ミニバス運行ルート図

# 取組み経過



青葉台ミニバス運行状況



## 取組み経過

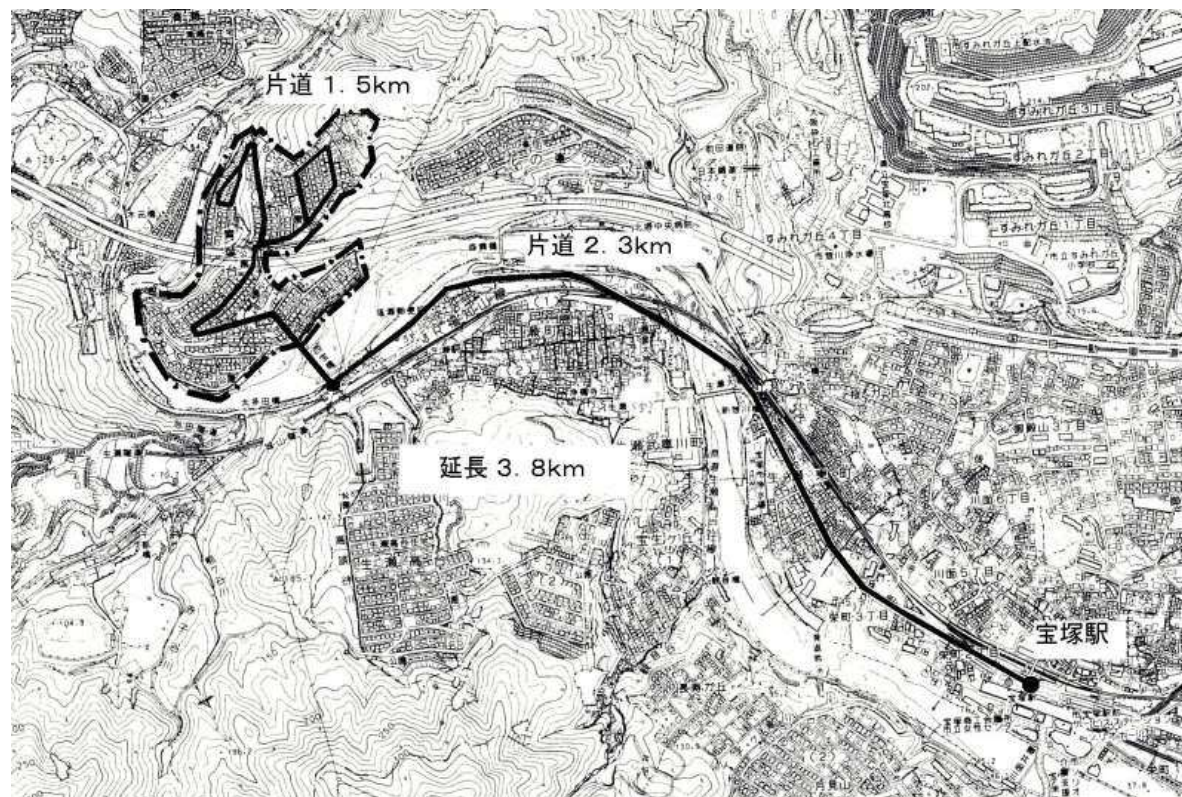
---

- ・H21. 4 ……試験運行終了
- ・H21. 5 ……自治会が主体となり、ボランティア方式の継続及び新たな方式の検討を行う(必要に応じて市もアドバイザーとして参加)



# 取組み経過

- ・H21.10・・・ジャンボタクシー等検討のためのアンケート調査の実施



青葉台ジャンボタクシー運行ルート図



## 試験運行の概要及び結果

---

- ・運行目的 : 交通困難地区における住民高齢化等に伴う、日常生活の交通利便の確保のため
- ・運行方法 : 地元住民ボランティアによる運行(運転手・自動車共)
- ・運行便数 : 1日3往復(平成21年1月19日～4月30日のうち平日71日間)、計426便
- ・利用者数 : 590人(1日あたり8.3人)

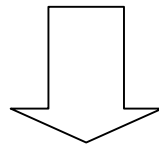


## 現在の状況

---

### ボランティア方式について

- ・ボランティア運転手の負担(交通事故時の補償・責任・保険、ガソリン代、自動車維持費等)が大きく、長期間の運行継続は不可能。
- ・運転手の負担軽減の為、利用者から金銭を受け取る場合、有償運行となり、道路運送法上問題となる。



ボランティア方式での継続は難しい

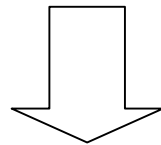


## 現在の状況

---

新たな方式での導入について

- ・自治会等が直接運営する過疎地有償運送や福祉有償運送は、運輸支局の登録が必要であり、また、登録条件をクリアする為の条件も現況では相当難しい事が判明。



運行事業者による運行を検討



## 今後について

---

- ・運行事業者による運行(具体的にはジャンボタクシー)での試験運行を目指した取組み、具体的には運行方式、運賃、ルート等について、また、国庫補助についても研究・検討を行っていく。